

第1章 駅前地区を取り巻く現況

【駅前地区の課題】	○ 駅利用者の変化	○ 駅前の魅力の低下	○ 施設設備の更新の必要性、大規模遊休地等の存在	○ 駅前に行く機会・用事の減少
-----------	-----------	------------	--------------------------	-----------------

第2章 駅前地区のあり方

【駅前地区のあり方】	○ 現状及びこれからの時代の変化を見据えて、駅前に訪れるための「新たな用事」をつくる必要がある ○ 「駅を主に利用する高校生が利用しなくなる場所、高校生を中心に子育て世代、高齢者さらに観光客が相乗して楽しめる場所」へ変化させる			
【まちづくりのターゲット】	○ 高校生（駅の主な利用者）	○ 子育て家族（日中の主な活動世代）	○ 高齢者（社会参加が期待される世代）	○ 観光客（駅前を利用する市外人口）

第3章 駅前地区将来構想

駅前地区を主な駅利用者である高校生や世代を超えた市民が集い、学び、交流する「学びのサードプレイス」として再構築し、真に豊かで暮らしやすい鶴岡のまちづくり拠点として形成し、関係人口の増加を目指す。

コンセプト：「人とまちを育てる場」＝いわば「令和の藩校」
まちづくりの方向性：第三の居場所＝「学びのサードプレイス」

- 高校生が集い使う、にぎわいのある「駅前」
- 学びの場、活動の場にあふれる「駅前」
- デジタルで広がり、新たな創造を生む「駅前」
- 歴史・文化の地から（力）、世界とつながる拠点「駅前」
- 高校生の愛着が育ち、誇りを持てる「まち」

郷土愛の高まり
シビックプライドの醸成
鶴岡応援団の増加

目標：関係人口の増加

【まちづくりの方針】

にぎわい・発信エリア
方針4 人・地域が連携し人を惹きつけ、集める、魅力あるまちをつくる
方針5 周辺の地域資源と連携し、地域の価値を高める

駅ターミナルエリア
方針7 人、車が円滑に移動、利用できる交通ターミナル拠点をつくる

学び・活動エリア
方針1 高校生の学習、コミュニティ及び活動、活躍の場をつくる
方針2 活力と創造が生まれ、持続・進化するまちをつくる
方針3 市民の学習、教育、起業など学び、創成の場をつくる

憩い・交流エリア
方針6 誰もが楽しみ、利用しやすく安全な環境をつくる

■鶴岡駅前の将来機能のイメージ

第4章 駅前地区の整備・運営方針

【駅前地区の整備方針】

にぎわい・発信エリア

- 商店街へと人が波及する地域連携
- 快適な街歩きができる空間
- 鶴岡の食文化の発信
- 魅力ある観光案内拠点
- 既存機能の充実と新しい生活様式に根差した環境整備

学び・活動エリア

- 市民の起業支援
- 各世代が気軽に集える場
- 高校生の学習の場・機会
- 高校生や市民が駅周辺のまちづくりに参画

駅ターミナルエリア

- 交通結節点の維持・向上
- 2次交通の充実
- 歩行者・自転車が快適に移動できる環境の整備

憩い・交流エリア

- 憩い・遊び・交流できる快適な空間
- イベント・展示・定期市などに利用できる安全な空間

・「学び・活動エリア」いわば「令和の藩校」を中核エリアとし、先行的な整備を進める
 ・各エリアの機能充実とエリア間の連携を強化することで、駅前地区の魅力を高める

「学びの場」「人材育成の場」 → 「まち育ての場」として展開

駅前地区を鶴岡市のにぎわいを牽引するエリアに



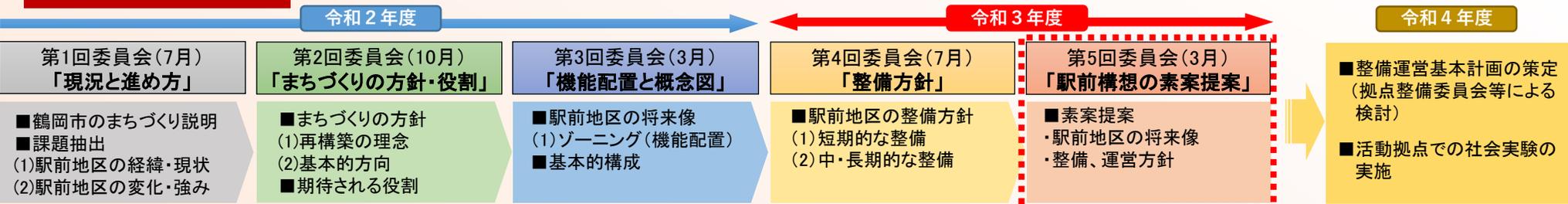
学び・活動エリア拠点の整備・運営は段階的に期間を設定し進める

期間	
短期(初動期)：5年間(令和4年～8年)	活動拠点での社会実験・検証の期間
中期(発展期)：10年間(令和9年～令和18年)	新たな仕組みでの事業展開の期間
長期(調整期)：11年間(令和19年～29年)	新たな施設への転換に向けた再調整・更新準備期間

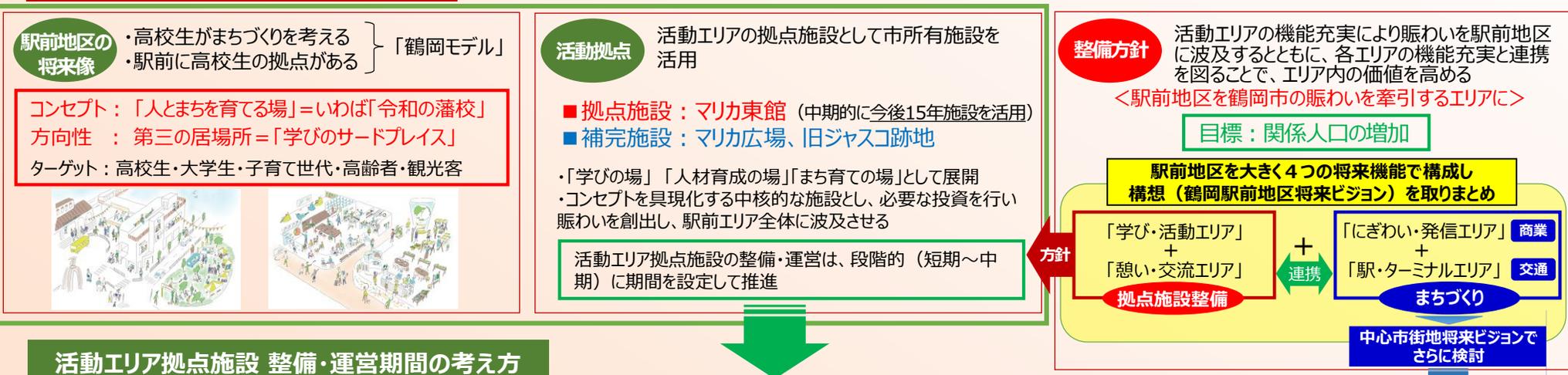
鶴岡駅前地区将来ビジョン策定後の取り組み

【資料2】

構想の検討経過



鶴岡駅前地区の整備・運営方針



活動エリア拠点施設 整備・運営期間の考え方

期間	項目
短期(初動期)：5年間	活動拠点での社会実験・検証の期間 ■整備運営基本計画<拠点整備委員会(仮称)の設置>(検討内容)運営スキーム構築、整備改修方針、官民連携手法を視野入れた運営体制、公共施設の一部機能移転、等 ■社会実験等の実証による効果の検証 ■施設維持に必要な改修、短期的な活動のための環境整備
中期(発展期)：10年間	新たな仕組みでの事業展開の期間 (内容)基本計画、社会実験を踏まえた事業展開、運営形態に沿ったマリカ東館のリノベーション、旧ジャスコ跡地・マリカ広場の整備
長期(更新期)	新たな施設への転換に向けた再調整・更新準備期間 再調整期間 更新準備

「城下のまちつるおか将来構想」令和4年度以降の取り組み

■城下のまち鶴岡将来構想「中心市街地将来ビジョン(仮称)」の策定

・先行して策定した鶴岡駅前地区将来ビジョンに引き続き、中心市街地のランドデザインとなる将来ビジョンの策定に向け検討に入る(研修会、勉強会の実施)

城下のまち鶴岡将来構想

